

受験番号

中部会計専門学校

模範解答

平成 23 年 度
第 128 回 簿 記 検 定 試 験

1 級 — I

商業簿記・会计学

(制限時間 1 時間 30 分)

(1 級 4 科目 午前 9 時開始)

(平成 23 年 6 月 12 日(日)施行)

受験
番号

第 128 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平 . . .

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

氏名

商 業 簿 記

問 1

採点欄

貸 借 対 照 表

平成X年 3 月 31 日

(単位：千円)

現金預金	30,094	買掛金	2,100
売掛金	1,861	未払金	2,000
貸倒引当金	△ 37	社債	45,989
商品	2,773	その他負債	14,800
建物	15,000	資本金	22,000
減価償却累計額	△ 4,950	資本準備金	4,000
備品	8,000	その他資本剰余金	2,300
減価償却累計額	△ 5,458	利益準備金	1,000
土地	20,000	任意積立金	7,500
投資有価証券	4,250	繰越利益剰余金	1,329
関係会社株式	600	新株予約権	1,880
その他資産	31,915	その他有価証券評価差額金	50
社債発行費	900	繰延ヘッジ損益	200
金利スワップ	200		
	105,148		105,148

問 2

総平均法による当期中の商品払出単価

3,160

円

商品評価損

71

千円

生年月日 昭・平

受験番号

第 128 回簿記検定試験答案用紙

氏名

1 級 ②

会 計 学

試験地(会議所名)	採点欄

問 1

1	未 実 現 損 益
2	自 己 株 式
3	株 主 資 本 等 変 動 計 算 書
4	投 資 そ の 他 の 資 産
5	現 金 同 等 物

採点欄

Empty dashed box for marking.

問 2

1.

	(A) 受取利息	(B) 受取手形
(1)	0 千円	22,523 千円
(2)	841 千円	21,682 千円
(3)	840 千円	21,648 千円

Empty dashed box for marking.

2.

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取手形	875,000	受取利息	875,000
現金	22,523,000	受取手形	22,523,000

問 3

設問 1	394,800 円
設問 2	△ 40,000 円
設問 3	23,520 円
設問 4	409,280 円
設問 5	△ 166,880 円

Empty dashed box for marking.

商業簿記解説(単位：千円)

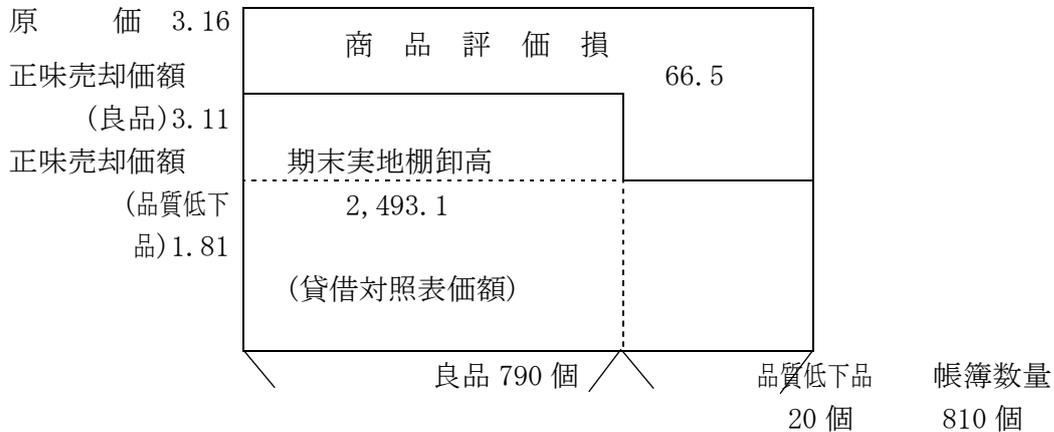
1	売掛金	276	／	積送売上	276
	仕入	2,400	／	繰越商品	2,400
	繰越商品	2,844	／	仕入	2,844
	商品評価損	71	／	繰越商品	71

手許商品		積送品	
期首個	700	期首個	100
@ 3	2,100	@ 3	300
仕入個	3,200	当期積分個	450
@ 3.2	10,240		
一般販売個	2,640	販売個	400
積送分個	450		60
期末個	810	期末個	90
@ 3.16	2,559.6	@ 3.16	284.4

平均単価 $\frac{2,100 + 300 + 10,240}{700 \text{ 個} + 100 \text{ 個} + 3,200} = @3.16$

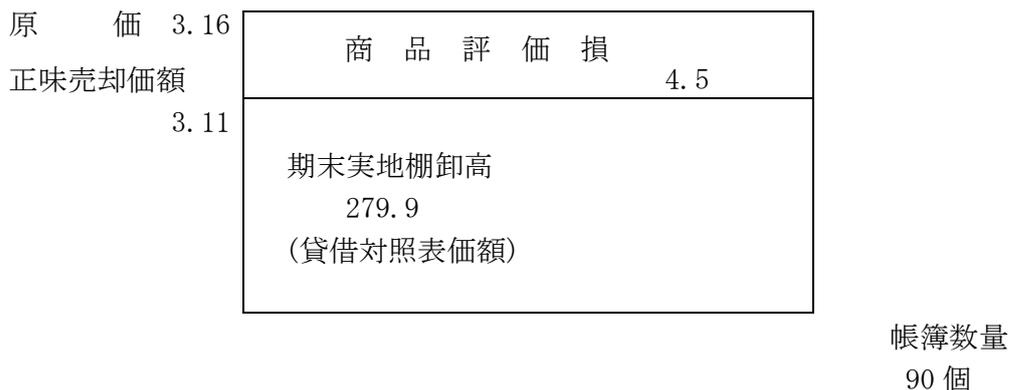
手許商品

期末帳簿棚卸高 2,559.6



積送品

期末帳簿棚卸高 284.4



2	現	金	預	金	400	／	壳	掛	金	400	
	現	金	預	金	200	／	買	掛	金	200	
	現	金	預	金	2,000	／	未	払	金	2,000	
	支	払	利	息	100	／	現	金	預	金	100

3	社債利息	1,188	／	社債	1,188
	社債発行費償却	300	／	社債発行費	300

償却原価法 クーポン利息 $50,000 \times 3\% = 1,500$
 実効利息 $44,804 \times 6\% = 2,688.06 \rightarrow 2,688$
 当期償却額 $2,688 - 1,500 = 1,188$
 社債発行費の償却 $1,200 \times 12 \text{ヶ月} / 48 \text{ヶ月} = 300$

4	為替差損	15	／	売掛金	15
---	------	----	---	-----	----

$3,000 \text{ドル} \times @90 - 285 = \Delta 15 \text{(差損)}$

5	減価償却費	1,408	／	建物減価償却累計額	450
				備品減価償却累計額	958

建物 $15,000 \times 0.9 \div 30 \text{年} = 450$

備品 期首分

償却率 $1 \text{年} / 5 \text{年} \times 250\% = 50\%$

$(6,000 - 4,500) \times 50\% = 750$

$6,000 \times 0.06249 = 374.94 \rightarrow 375$

よって、多い金額 750 となる

期中取得分

償却率 $1 \text{年} / 4 \text{年} \times 250\% = 62.5\%$

$2,000 \times 62.5\% \times 2 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 208.33 \dots \rightarrow 208$

$2,000 \times 0.05274 \times 2 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 17.58 \rightarrow 18$

よって、多い金額 208 となる

$750 + 208 = 958$

6	投資有価証券	3,000	／	その他有価証券	3,000
	その他有価証券評価差額金	150	／	投資有価証券	150

金利スワップ	200	／	繰延ヘッジ損益	200
--------	-----	---	---------	-----

投資有価証券	1,200	／	その他有価証券	1,200
--------	-------	---	---------	-------

投資有価証券	200	／	その他有価証券評価差額金	200
--------	-----	---	--------------	-----

関係会社株式評価損	600	／	関係会社株式	600
-----------	-----	---	--------	-----

A社社債 $2,850 - 3,000 = \Delta 150 \text{(評価差損)}$

B社株式 $1,400 - 1,200 = +200 \text{(評価差益)}$

関係会社株式 実質価額 $2,000 \times 30\% = 600$

$600 - 1,200 = \Delta 600 \text{(評価損)}$

7	新株予約権	120	／	新株予約権戻入	120
---	-------	-----	---	---------	-----

8	貸倒引当金	13	／	貸倒引当金戻入	13
---	-------	----	---	---------	----

設定額 $(2,000 + 276 - 400 - 15) \times 2\% = 37.22 \rightarrow 37$

$37 - 50 = \Delta 13 \text{(戻入)}$

会計学解説

問2 (単位: 千円)

1. (1) 金利相当額を別処理しない場合

商品販売時

受取手形 22,523 / 売上 22,523

決算時(1年目)

仕訳なし

決算時(2年目)

仕訳なし

決算時(3年目)

仕訳なし

満期日

現金 22,523 / 受取手形 22,523

(2) 金利相当額を別処理し、利息の認識を定額法により行う場合

商品販売時

受取手形 20,000 / 売上 20,000

決算時(1年目)

受取手形 841 / 受取利息 841

利息 $(22,523 - 20,000) \times 12 \text{ヶ月} / 36 \text{ヶ月} = 841$

決算時(2年目)

受取手形 841 / 受取利息 841

利息 $(22,523 - 20,000) \times 12 \text{ヶ月} / 36 \text{ヶ月} = 841$

決算時(3年目)

受取手形 841 / 受取利息 841

利息 $(22,523 - 20,000) \times 12 \text{ヶ月} / 36 \text{ヶ月} = 841$

満期日

現金 22,523 / 受取手形 22,523

(3) 金利相当額を別処理し、利息の認識を利息法により行う場合

商品販売時

受取手形 20,000 / 売上 20,000

決算時(1年目)

受取手形 808 / 受取利息 808

利息 1回目 $20,000 \times 4\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 400$

2回目 $(20,000 + 400) \times 4\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 408$

決算時(2年目)

受取手形 840 / 受取利息 840

利息 1回目 $(20,400 + 408) \times 4\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 416.16 \rightarrow 416$

2回目 $(20,808 + 416) \times 4\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 424.48 \rightarrow 424$

決算時(3年目)

受取手形 875 / 受取利息 875

利息 1回目 $(21,224 + 424) \times 4\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 432.96 \rightarrow 433$

2回目 $(22,523 - 20,000) - (400 + 408 + 416 + 424 + 433) = 442$

満期日

現金 22,523 / 受取手形 22,523

問3 (単位：円)

損益計算書

売 上	親会社分(@98円×10,000ドル)+ 外部分(@94円×30,000ドル)=3,800,000円
売上原価	@94円×28,000ドル=2,632,000円
減価償却費	@94円×800ドル=75,200円
諸費用	@94円×7,000ドル=658,000円
当期純利益	@94円×4,200ドル=394,800円
為替差損	貸借差額 40,000円
利益剰余金	
期首残高	@95円×400ドル=38,000円
当期純利益	@94円×4,200ドル=394,800円
(P/Lより)	
配当金	@98円×240ドル=23,520円
期末残高	貸借差額 409,280円
貸借対照表	
流動資産	@90円×12,400ドル=1,116,000円
固定資産	@90円×7,600ドル=684,000円
諸負債	@90円×5,640ドル=507,600円
資本金	@105円×10,000ドル=1,050,000円
利益剰余金	期末残高4,360ドル, 409,280円
為替換算調整勘定	貸借差額 △166,880円

受験番号

中部会計専門学校

模範解答

平成 23 年度
第 128 回 簿記 検定 試験

1 級 — II

工業簿記・原価計算

(制限時間 1 時間 30 分)

(1 級 4 科目 午前 9 時開始)

(平成 23 年 6 月 12 日(日)施行)

受験
番号

--	--	--	--

第 128 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平 . . .

試験地 (会議所 名)	採 点 欄

1 級 ③
工 業 簿 記

氏名 _____

問 1

素 材 x	100,000 円	(借方、 <u>貸方</u>)
半製品 x-2	82,500 円	(<u>借方</u>) 貸方)
半製品 x-3	0 円	(借方、貸方)

採 点

問 2

第 1 加工工	90,000 円	(借方、 <u>貸方</u>)
第 2 加工工	30,000 円	(<u>借方</u>) 貸方)
仕上工程	15,000 円	(<u>借方</u>) 貸方)

問 3

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品 (726,000)		製 品 (26,390,000)	
素 材 (2,100,000)		月末仕掛品 (2,266,000)	
直接労務費 (7,410,000)		外注先負担分 (165,000)	
直接経費 (3,740,000)		原価差異 (1,155,000)	
製造間接費 (16,000,000)		()	
(29,976,000)		(29,976,000)	

氏名

1 級 ④

原 価 計 算

試験地(会議所名)	採点欄

第 1 問
問 1

採点欄

	製品 X	製品 Y	合計
売上高	(1,014,000)	(620,000)	(1,634,000)
標準変動費：			
製造原価	(650,000)	(372,000)	(1,022,000)
販売費	(61,360)	(24,800)	(86,160)
計	(711,360)	(396,800)	(1,108,160)
標準貢献利益	(302,640)	(223,200)	(525,840)
標準変動費差異	(5,240)	(27,000)	(32,240)
実際貢献利益	(307,880)	(250,200)	(558,080)
固定費			(488,080)
営業利益			(70,000)

問 2

	製品 X	製品 Y	合計
販売価格差異	78,000 (有利、不利)	124,000 (有利、不利)	46,000 (有利、不利)
売上高販売数量差異	36,000 (有利、不利)	36,000 (有利、不利)	0 (有利、不利)
変動費販売数量差異	27,360 (有利、不利)	19,200 (有利、不利)	8,160 (有利、不利)
標準変動費差異	? (有利、不利)	? (有利、不利)	? (有利、不利)
固定費差異	—	—	8,080 (有利、不利)
合計	—	—	30,000 (有利、不利)

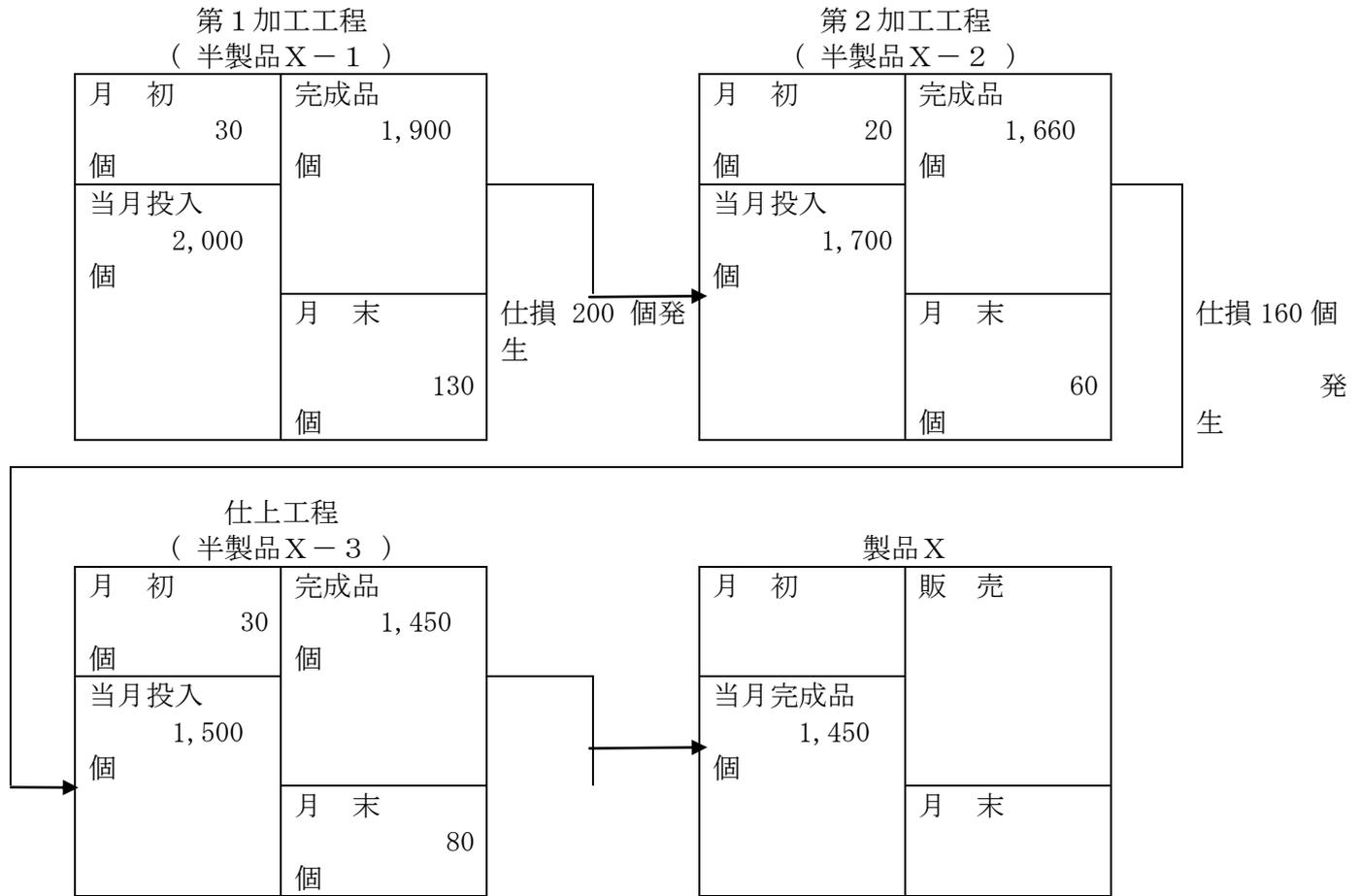
(注) () 内の「有利」または「不利」を○で囲みなさい。差異が 0 の場合には必要はない。

第 2 問

	製品 X (100 個)	製品 Y (50 個)	合 計
顧客 A への売上 原価	370,500 円	270,000 円	640,500 円

工業簿記解説(単位：円)

生産データ



<原価標準>

第1加工工程

直接材料費	素材X @1,000 × {1個 + (1個 × 10%)}	=	@1,100
直接労務費	@3,000 × {0.5h + (0.5h × 10%)}	=	@1,650
製造間接費	@5,000 × {0.5h + (0.5h × 10%)}	=	@2,750
合計	半製品X-1		<u>@5,500</u>

外注加工

半製品X-1	@5,500 × {1個 + (1個 × 10%)}	=	@6,050
外注費			@2,200
合計	半製品X-2		<u>@8,250</u>

第2加工工程

半製品X-2	@8,250 × {1個 + (1個 × 10%)}	=	@9,075
直接労務費	@3,000 × {0.4h + (0.4h × 10%)}	=	@1,320
製造間接費	@6,375 × {0.4h + (0.4h × 10%)}	=	@2,805
合計	半製品X-3		<u>@13,200</u>

仕上工程

半製品X-3	@13,200 × 1個	=	@13,200
--------	--------------	---	---------

直接勞務費
製造間接費
合計

@3,000 × 0.5 h = @1,500
@7,000 × 0.5 h = @3,500
製品 X @18,200

問 1

素 材 X	$\{2,000 \text{ 個} \times (1 + 10\%) - 2,100 \text{ 個}\} \times @1,000$	+ 100,000 (貸方差 = 異)
半製品 X - 2	$\{1,500 \text{ 個} \times (1 + 10\%) - 1,660 \text{ 個}\} \times @8,250$	$\Delta 82,500$ (借方差 = 異)
半製品 X - 3	$(1,450 \text{ 個} - 1,450 \text{ 個}) \times @13,200$	= 0

問 2

第 1 加工工程	$\{2,000 \text{ 個} \times 0.5 \text{ h} \times (1 + 10\%) - 1,070 \text{ h}\} \times @3,000$	+ 90,000 (貸方差 = 異)
第 2 加工工程	$\{1,500 \text{ 個} \times 0.4 \text{ h} \times (1 + 10\%) - 670 \text{ h}\} \times @3,000$	$\Delta 30,000$ (借方差 = 異)
仕 上 工 程	$(1,450 \text{ 個} \times 0.5 \text{ h} - 730 \text{ h}) \times @3,000$	= $\Delta 15,000$ (借方差 異)

問 3

月初仕掛品

半製品 X - 1	@ 5,500 × 30 個 =	165,000
半製品 X - 2	@ 8,250 × 20 個 =	165,000
半製品 X - 3	@ 13,200 × 30 個 =	396,000
合 計		<u>726,000</u>

素 材

@ 1,000 × 2,100 個 = 2,100,000

直接労務費

第 1 加工工程	@ 3,000 × 1,070 h =	3,210,000
第 2 加工工程	@ 3,000 × 670 h =	2,010,000
仕 上 工 程	@ 3,000 × 730 h =	2,190,000
合 計		<u>7,410,000</u>

直接経費

@ 2,200 × 1,700 個 = 3,740,000

製造間接費

実際発生額 16,000,000

製 品

@ 18,200 × 1,450 個 = 26,390,000
=

月末仕掛品

半製品 X - 1	@ 5,500 × 130 個 =	715,000
半製品 X - 2	@ 8,250 × 60 個 =	495,000
半製品 X - 3	@ 13,200 × 80 個 =	<u>1,056,000</u>

合 計		<u>2,266,000</u>
外注先負担分		
@ 5,500 × (200 個 - 1,700 個 × 10%)		165,000
	=	
原価差異		
	貸借差額	1,155,000

原価計算解説

第1問

問1 (単位：千円)

		製品別 実際損益計算書			
		製品X		製品Y	合計
売上高	@19.5 × 52,000 個	1,014,000		@10 × 62,000 個 620,000	1,634,000
標準変動費					
製造原価	(@4.5 + @8) × 52,000 個	650,000	(@2 + @4) × 62,000 個	372,000	1,022,000
販売費	@1.18 × 52,000 個	61,360	@0.4 × 62,000 個	24,800	86,160
計		711,360		396,800	1,108,160
標準貢献利益		302,640		223,200	525,840
標準変動費差異	標準 711,360 - 実際 706,120	5,240 (有利)	標準 396,800 - 実際 369,800	27,000 (有利)	32,240 (有利)
実際貢献利益		307,880		250,200	558,080
固定費			558,080 - 70,000		488,080
営業利益					70,000
実際変動費	製品X 208,800 + 434,920 + @1.2 × 52,000 個 = 706,120 製品Y 76,800 + 262,000 + @0.5 × 62,000 個 = 369,800				

問2 (単位：千円)

製品X

予算販売単 予算貢献利益 216,000

@18	販売価格差異 +78,000 (有利差異)	売上高販売数量差異 + 36,000 円 (有利差異)	製品1個あたりの 予算貢献利益額 @4.32
実際販売単価	実際貢献利益 307,880		
@19.5	変動費差異 +5,240 (有利差異)		
実際変動費 706,120 千円			
標準変動費 @13.68			
	実際販売数量 52,000 個	予算販売数量 50,000 個	

製品X

実際変動費

706,120 千円 標準変動費 @13.68	変動費差異 +5,240 (有利差異)	
		変動費販売数量差異 △ 27,360 円 (不利差異)
	予算販売数量 50,000 個	実際販売数量 52,000 個

製品 Y

予算販売単 予算貢献利益 364,000

@12	販売価格差異 △124,000 (不利差異)	売上高販売数量差異 △ 36,000 円 (不利差異)	製品 1 個あたり の予算貢献利益額 @5.6
実際販売単価	実際貢献利益 250,200		
@10	変動費差異 +27,000 (有利差異)		
実際変動費 369,800 千円			
標準変動費 @6.4			
	実際販売数量 62,000 個	予算販売数量 65,000 個	

製品 Y

実際変動費
369,800 千円

標準変動費
@6.4

変動費差異 +27,000 (有利差異)	
	変動費販売数量差異 + 19,200 (有利差異)

予算販売数量
65,000 個

実際販売数量
62,000 個

固定費差異 480,000 - 488,080 = △8,080 (不利差異)

第 2 問

問 1 (単位 : 円)

		製品 X		製品 Y	合計
直接材料費	@1,400 × 100 個 =	140,000	@2,400 × 50 個 =	120,000	260,000
加工費					
材料取扱費	@250 × (100 個 × 0.5kg) =	12,500	@250 × (50 個 × 0.8kg) =	10,000	22,500
段取費	@15,000 / 500 個 × 100 個 =	3,000	@15,000 / 300 個 × 50 個 =	2,500	5,500
加工	@2,000 × 100 個 =	200,000	@2,000 × 50 個 =	100,000	300,000

費						
檢	查	@3,000×100個×0.05	15,000	@3,000×50個×0.25h	37,500	52,500
費		h =	<u>370,500</u>	=	<u>270,000</u>	<u>640,500</u>